

しょう がっ こう  
小学校のコーナーが  
ひだり まわ  
「左回り」であることに着目!

みづか こ も かいはつ たん どう しゃ えい ねん しょう がっ こう うん どう かい  
自らも子どもを持つ開発担当者は、永年、小学校の運動会  
で子どもたちが履いているシューズの写真を撮影し続けてい  
ました。それは、いわゆる定点観測により、新たなシューズ  
かいはつ のヒントをえ 得ようとするものでした。かいはつ しゃ  
開発のヒントを得ようとするものでした。開発者がそこで  
見たものは、子どもたちが都会の狭い運動場をどこか不自由  
そうに走り回っている姿でした。また同じころ営業担当者  
も、運動会のコーナー走 バランス崩したり、転倒する子ども  
たちが多いことが気になっていたのです。

ちやう さ すす に ほん しょう がっ こう こう いてい そう  
調査を進めると、日本の小学校の校庭コーナー走はほ  
とんどが左回りでした。誰もが運動会のかけっこで1番にな  
れればいいはず。ならば、左回りのコーナーでトラブルを起  
こさず、力いっぱい走れるシューズを開発すれば人気が出  
るはずだ…。そこで、とことん ひだりまわりにこだわった結果、  
「左右非対称ソール」という過去に例を見ないアイデアが  
生まれたのです。



Q ひだり まわ  
なぜコーナーは左回りなのでしょう？

A 1912年、国際陸連は陸上のコーナー走において「左回り」をルールとして統一しました。日本  
陸連もそれにのっとり、学校の校庭も同様に左回りで競技を行っています。その理由には「心臓  
が左にあるから」「右利きが多いから左のほうが回りやすい」など諸説ありますが、スポーツジャーナリスト  
の草分け、故川本信正さんの「人間の足は左右で機能が違う。左足は身体を支える役割を持ち、右足は  
ドライブをかけて推進する働きをする。コーナーを曲がるとき、左足で体を支えながら右足で加速して走  
るので、左回りのほうが理にかなっている」(1995年2月10日・読売新聞)といった説が有力視されています。